

# ⑥ 庄内緑地周辺散策コース 約 8.6 km



◎五所社



◎法源寺

## ⑥ 岩倉街道

いわくらかいどう



岩倉方面の農産物を枇杷島の青物市へ搬送し、その帰りに味噌・油などの生活用品を購入したことから、街道沿いに商家の立ち並ぶ街が形成されました。名古屋市町並み保存地区。

## ⑤ 東雲寺

とううんじ



寺伝によれば明応元年(1492)の創建で、開基は織田丹波守平常寛。境内には小田井城主織田常寛の墓、津田貫流槍術の祖津田権之丞信之夫妻の墓、平手政秀の首塚があります。

## ④ 善光寺別院願王寺

ぜんこうじべついんがんおうじ



創建は天長6年(829)と伝えられています。本尊は薬師如来と善光寺如来。寺室に名古屋市指定文化財の刺繍涅槃画像の掛け軸があります。



## ⑦ 星神社

ほしじんじゃ



創建不詳。おおあなむちのみこと(大国主命)、天香々背男、牽牛織女を合祀。8月7日の七夕祭は特別由緒のある祭礼で、昔は酒を祭庭にそそいだことから坂庭となり、坂井戸となったといえます。

かつての庄内川御用留であった現在の庄内緑地の周辺を回るコースです。最も多くの寺社をめぐるができる散策路になっています。またこのコースは西枇杷島町地内の一部も通ります。

## ① 伊奴神社

いぬじんじゃ



創建は天武2年(673)。このあたりでは最古の神社。主神は素盞鳴尊、大年神と伊奴姫神の三神。天武天皇の時、このあたりから稲を献じ、それに併せて神を祀ったことが創始と伝えられています。境内にはシャシャンボ(ツツジ科)の大樹があります。

## ③ 白山神社

はくさんじんじゃ



創建不詳。祭神は伊弉冉尊。神社正面にはクスノキのご神木があります。

## ② 庚申塚(稲生ヶ原古戦場跡)

こうしんづか(いのうがはらこせんじょうあと)



織田信長は、その弟信行側の柴田勝家、林美作などこの地(現在の名塚町、稲生町一带)で戦って勝利し、尾張統一に大きく踏み出しました。庚申塚にこの合戦の死者の霊を祀ったといわれていますが、本来、庚申信仰の名残りでもあります。